「命」を守るセールスマン【重点項目】

水とトイレの備蓄をしましょう！！

能登半島地震では水道断水多発
最大断水戸数 137,040 戸！
1ヵ月半後も2割は断水中！
全戸断水解消は5か月後！

袋井市ではどうなる？

南海トラフ地震の被害想定では、

●上水道 100％断水！（直後）

1　水の備蓄

水道施設及び導送水管が、使用できるまで！
国・他県からの支援が来るまで！

① 各家庭で備蓄した水を使用する。（自助）

お願い

７日分の飲料水の備蓄をお願いします！

② 各地域にある耐震性防火水槽などから、各自主防災隊にある「ろ水機」を使用して給水する。（共助）

お願い

自主防災隊でろ水機の点検・訓練をお願いします！

←（参考）ろ水機・可搬ポンプ・消火栓の取り扱いについて

2 トイレの備蓄

＜能登半島地震の現実＞

外部から7日以内に提供された仮設トイレは、指定避難所数の6割のみ！
仮設トイレが設置されるまでは、備蓄していた携帯トイレや簡易トイレを使用！
（発災直後は避難所の9割が携帯トイレ、6割が簡易トイレ使用）

＜災害時のトイレ問題＞
①不衛生
②水分摂取を控え、関連死につながる
③心理的負担による不安

袋井市における
仮設・簡易トイレ配備数
・仮設トイレ　３２３基
（協定による応援含む）
・簡易トイレ　５１３基
合計　８３６基

市指定避難所での避難者数 26,240 人分（在宅避難者除く）に必要なトイレ数を配備しています。

在宅避難で、トイレが使えるように
簡易トイレ・携帯トイレを準備しましょう!

自宅でのトイレは、
精神的にも安心です。

①家庭のトイレ備蓄（自助）

お願い

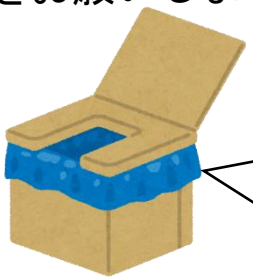
自宅等の被害が軽度で、避難所に避難せずに自宅等にいる場合、停電、断水等により自宅のトイレが使えないことがあります。
７日分の簡易トイレや携帯トイレの備蓄をお願いします！

②一次避難所（公会堂等）のトイレ備蓄（共助）

お願い

簡易トイレや携帯トイレ等は自主防災対策補助金の対象です。
活用して、各自主防災隊で備蓄をお願いします！

携帯トイレ
（既存トイレにセットする。凝固剤等）



簡易トイレ
（便座と凝固剤等がセットになったもの）